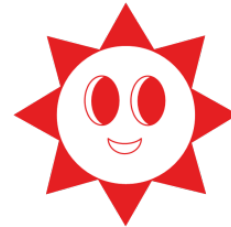


ケンコーマヨネーズ株式会社【証券コード：2915】

2026年3月期 第3四半期

決算補足資料



2026年2月13日

**1. 2026年3月期 第3四半期 決算概要**

**2. 2026年3月期 業績予想**

**3. 株主還元・配当予想**

**<参考資料>**

# 1. 2026年3月期 第3四半期 決算概要

# 2026年3月期 第3四半期 決算ハイライト（連結）



売上高  $\triangle 0.4\%$   
営業利益  $\triangle 22.4\%$

- ・マヨネーズ・ドレッシング類は伸長
- ・総菜関連事業等のフレッシュサラダが減少

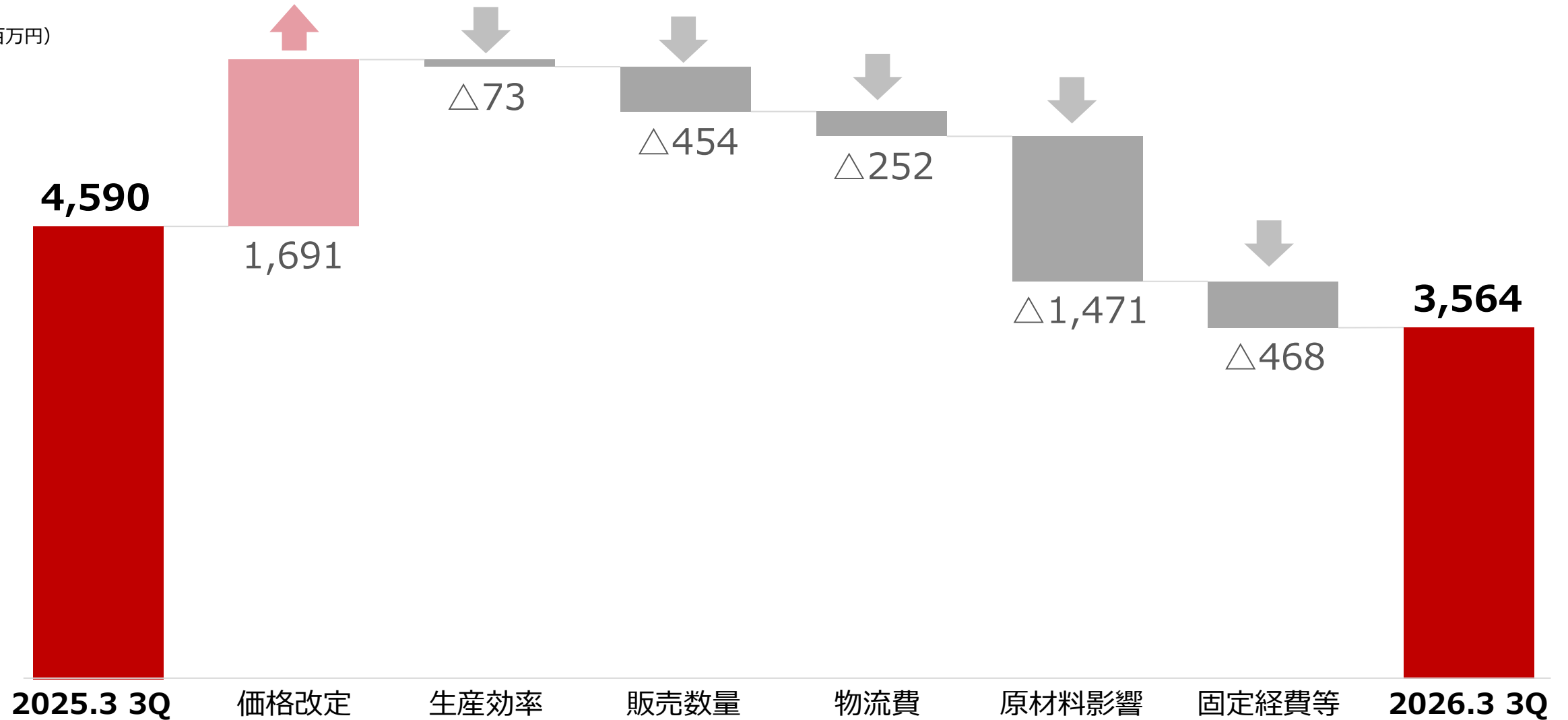
前年同期比で  
減収・減益

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	
	実績	実績	前年同期比
売上高	70,537	70,262	$\triangle 0.4\%$
売上総利益 (売上総利益率)	16,283 23.1%	15,976 22.7%	$\triangle 1.9\%$
販売費及び一般管理費 (販管费率)	11,692 16.6%	12,412 17.7%	+6.2%
営業利益 (営業利益率)	4,590 6.5%	3,564 5.1%	$\triangle 22.4\%$
経常利益 (経常利益率)	4,698 6.7%	3,674 5.2%	$\triangle 21.8\%$
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,244 4.6%	2,396 3.4%	$\triangle 26.1\%$
1株当たり四半期純利益	203円00銭	161円78銭	

(単位：百万円)

# 連結營業利益 増減要因 <前年同期比>

(単位：百万円)



前年同期比△1,026百万円

※百万円未満切り捨て

# セグメント別実績

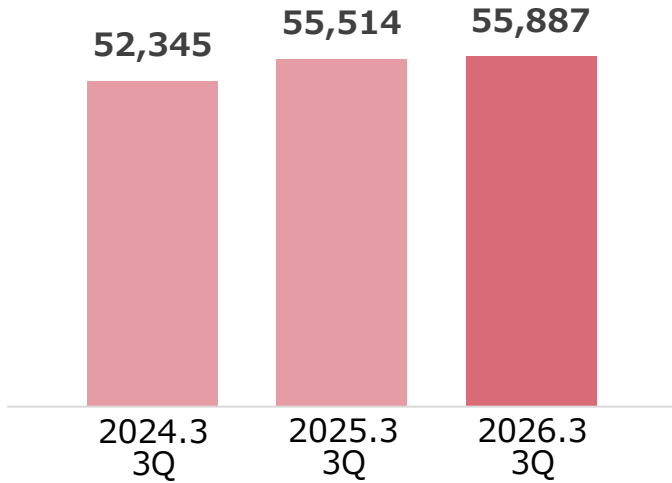


(単位：百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>70,537</b>	<b>70,262</b>	<b>△0.4%</b>
■ 調味料・加工食品事業 ※ケンコーマヨネーズ本体の事業	55,514	55,887	+0.7%
■ サラダ・総菜類	16,269	16,266	△0.0%
■ マヨネーズ・ドレッシング類	21,066	21,468	+1.9%
■ タマゴ加工品	16,780	16,743	△0.2%
■ その他	1,398	1,409	+0.8%
■ 総菜関連事業等 ※連結子会社の事業	14,359	13,802	△3.9%
■ その他 ※サラダカフェ	662	572	△13.7%
<b>セグメント利益</b>	<b>4,590</b>	<b>3,564</b>	<b>△22.4%</b>
■ 調味料・加工食品事業	3,732	2,686	△28.0%
■ 総菜関連事業等	764	845	+10.7%
■ その他	8	△24	—
調整額	86	57	△33.8%

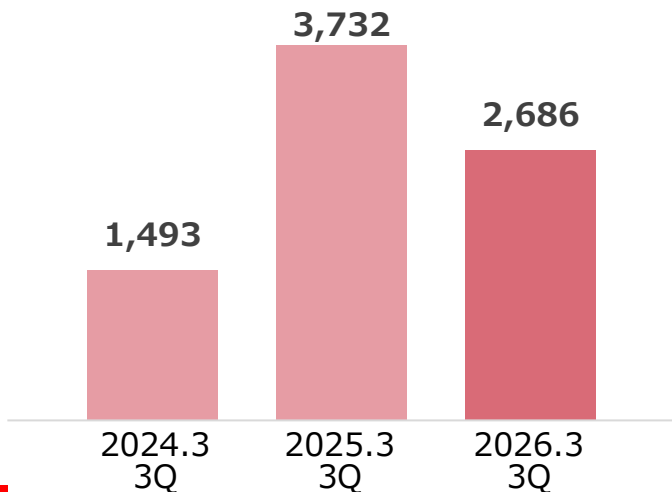
# セグメント別実績 ■ 調味料・加工食品事業



## ■ 売上高 (単位：百万円)



## ■ セグメント利益 (単位：百万円)



### 売上高

増収  
(前年同期比+0.7%)

- ・外食、量販店、CVS向けにポテトサラダが増加
- ・パスタサラダやフィリング等が減少
- ・タマゴサラダやゆで卵、錦糸卵が好調に推移
- ・製パン、外食向けにマヨネーズ類が増加
- ・外食、CVS向けにソース類が増加
- ・メニュー変更によりスクランブルエッグが減少

### セグメント利益

減益  
(前年同期比△28.0%)

- ・コストアップと価格改定のタイムラグ
- ・鶏卵相場の高止まりによる原材料費の増加
- ・物流費、人件費等の増加

## ▼ 11月4日発売 春夏向け新商品



塩分カットをした『たのしお®』ブランドから新商品のドレッシングがラインナップ。多様化する食ニーズに応える5品を発売。

## ▼ 2月に東京本社移転



2月24日、東京本社を杉並区高井戸から千代田区麴町に移転。Cooking Labの設備をさらに充実。

提案強化

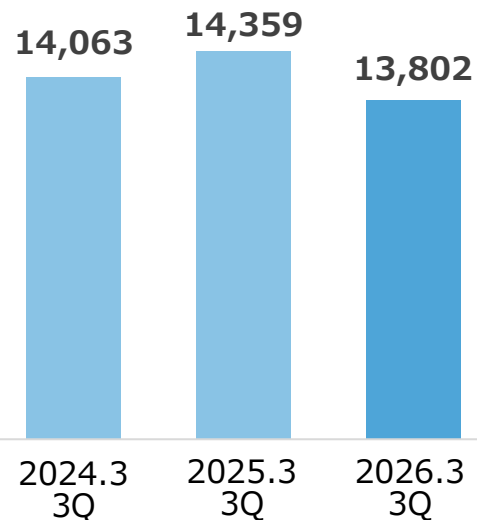
# セグメント別実績

## ■ 総菜関連事業等

## ■ その他



### ■ 売上高 (単位: 百万円)



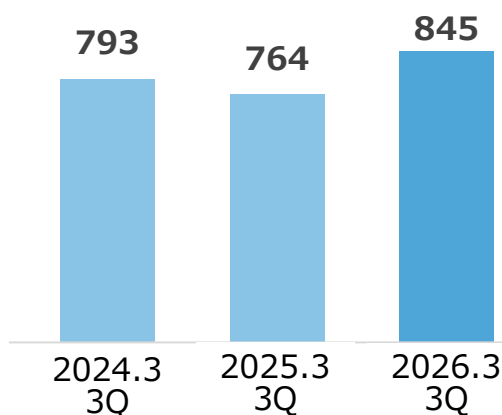
売上高 減収  
(前年同期比△3.9%)

- ・商品カテゴリーの拡大
- ・高付加価値商品の開発
- ・販売先の内製化により減収

セグメント利益 増益  
(前年同期比+10.7%)

- ・価格改定の実施
- ・相乗積 (売上構成比×粗利率) の可視化
- ・新規カテゴリーへの参入

### ■ セグメント利益 (単位: 百万円)



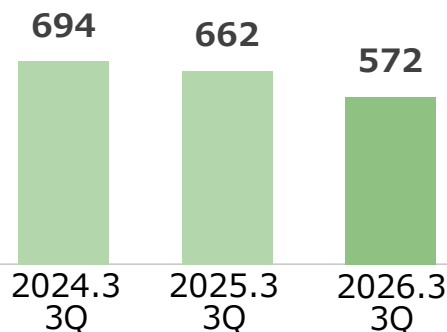
### ▼ 関東ダイエツクック

「お弁当・お惣菜大賞2026」優秀賞を受賞



15,000点以上のエントリーの中から選出。  
『塩レモンジュレで食べるチキンボウルサラダ』が  
一般社団法人全国スーパーマーケット協会主催の  
「お弁当・お惣菜大賞2026」サラダ部門で  
優秀賞を受賞。

### ■ 売上高 (単位: 百万円)



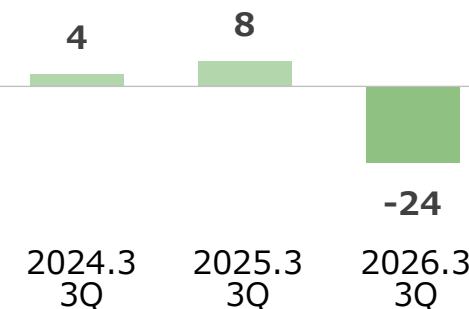
売上高 減収  
(前年同期比△13.7%)

- ・2店舗の退店
- ・百貨店の客数減
- ・材料価格の高騰

セグメント利益 減益

- ・経費対策、店舗対策、商品対策  
による仕組みの見直し

### ■ セグメント利益 (単位: 百万円)



### ▼ Salad Cafe

「ファベックス 惣菜・べんとうグランプリ2026」  
優秀賞受賞



『きれいをつくる12品目のコブサラダ』が、  
株式会社日本食糧新聞社主催の  
「ファベックス 惣菜・べんとうグランプリ2026」  
健康・ヘルシー部門において、優秀賞を受賞。

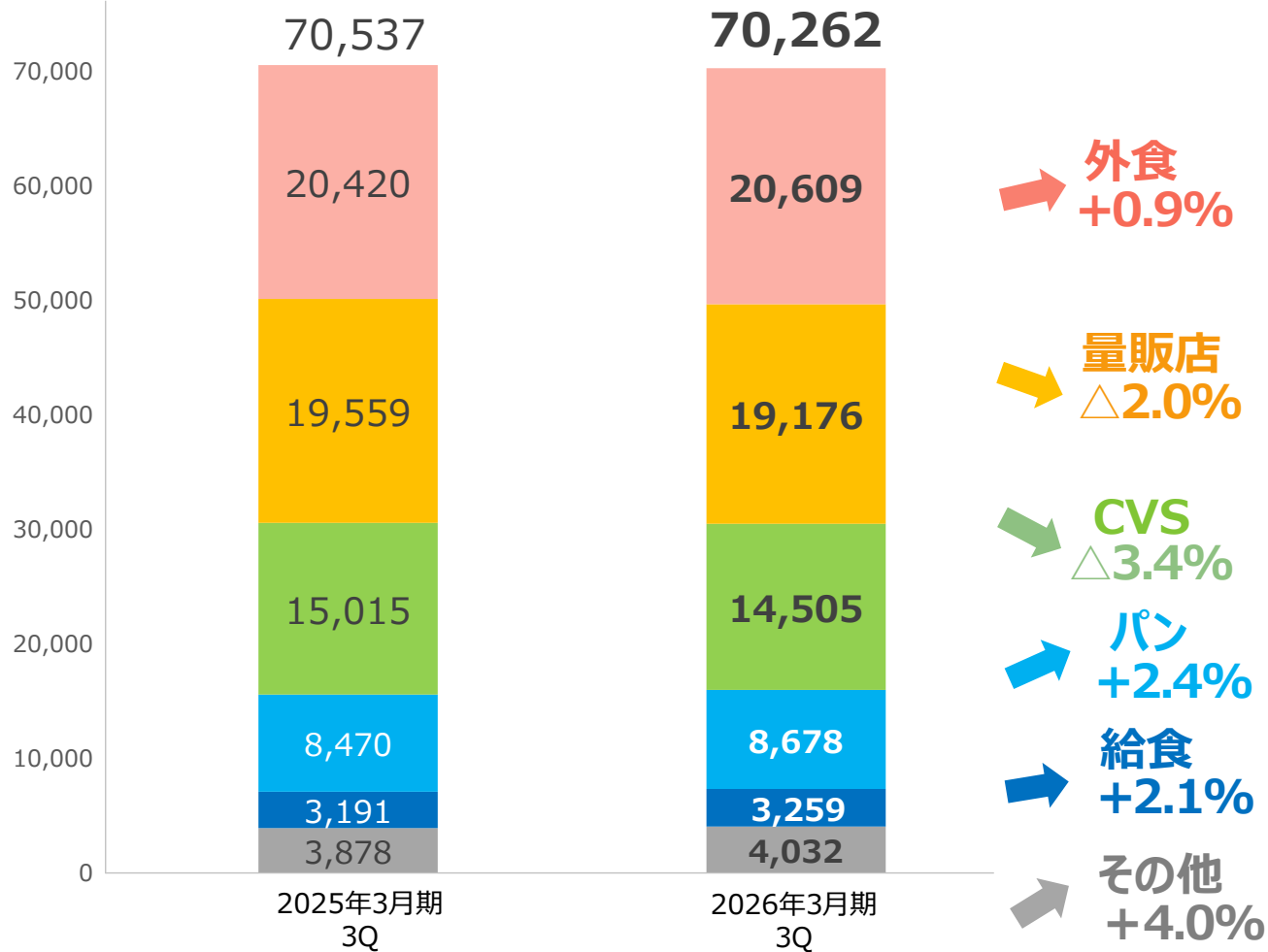
※百万円未満切り捨て

# 販路別売上高（連結）



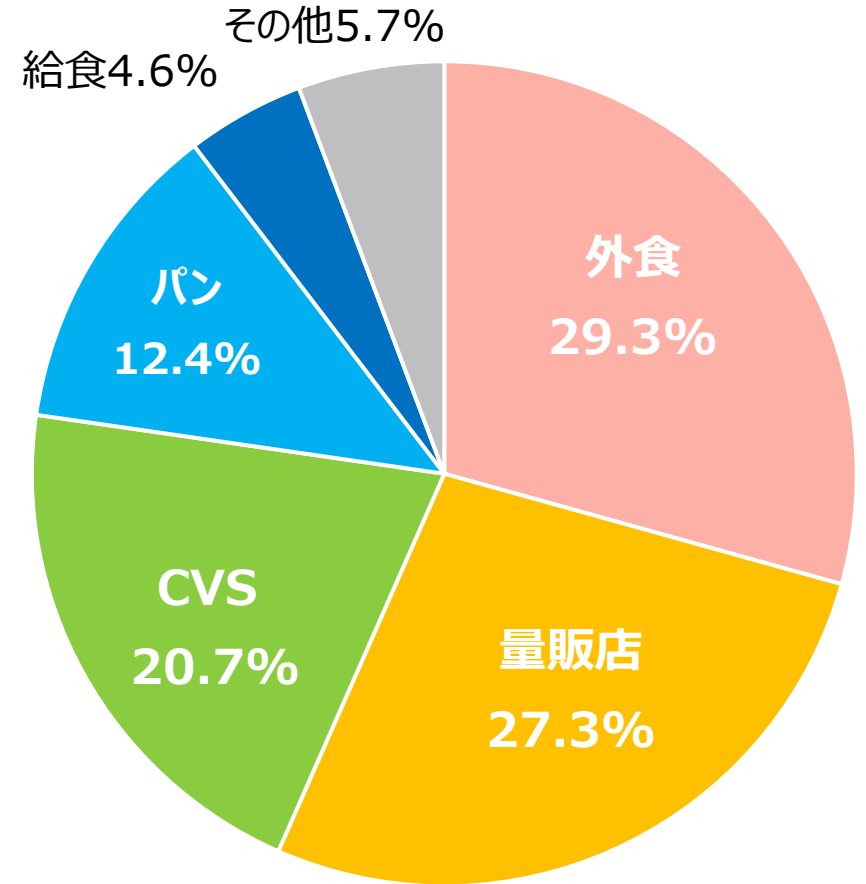
## 販路別売上高

(百万円)



## 販路別売上高 構成比

<2026年3月期第3四半期>



※百万円未満切り捨て

# 貸借対照表（連結）



※1：長期未払金を含む（単位：百万円）

		2025年3月期	2026年3月期 第3四半期	前年度末比
資 産	流動資産	34,312	<b>39,676</b>	+15.6%
	固定資産	29,767	<b>29,519</b>	△0.8%
資産合計		64,080	<b>69,196</b>	+8.0%
負 債	うち有利子負債残高 <sup>※1</sup>	5,482	<b>4,932</b>	△10.0%
		24,116	<b>28,368</b>	+17.6%
純資産		39,963	<b>40,827</b>	+2.2%
負債・純資産合計		64,080	<b>69,196</b>	+8.0%
1株当たり純資産		2,678円13銭	<b>2,835円71銭</b>	-
自己資本比率		62.4%	<b>59.0%</b>	△3.4ポイント

## ポイント

### ▼資産

- ・売掛金の増加 3,904百万円
- ・建設仮勘定の増加 926百万円

### ▼負債

- ・買掛金の増加 4,806百万円
- ・未払法人税等の減少 906百万円

・有利子負債の減少

※2026年3月期第3四半期末が休日により、売掛金、買掛金、未払金等が増加

# 設備投資額・減価償却費（連結）



	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増 減
(単位：百万円)			
<b>設備投資額合計</b>	464	<b>1,423</b>	+958
調味料・加工食品事業	313	<b>1,166</b>	+852
総菜関連事業等	150	<b>256</b>	+105
その他	0	<b>0</b>	+0
<b>減価償却費合計</b>	1,759	<b>2,020</b>	+260
調味料・加工食品事業	1,229	<b>1,476</b>	+246
総菜関連事業等	528	<b>543</b>	+14
その他	1	<b>1</b>	△0

## 2. 2026年3月期 業績予想

# 2026年3月期 業績予想（連結）



売上高 +1.2%、営業利益△21.6%

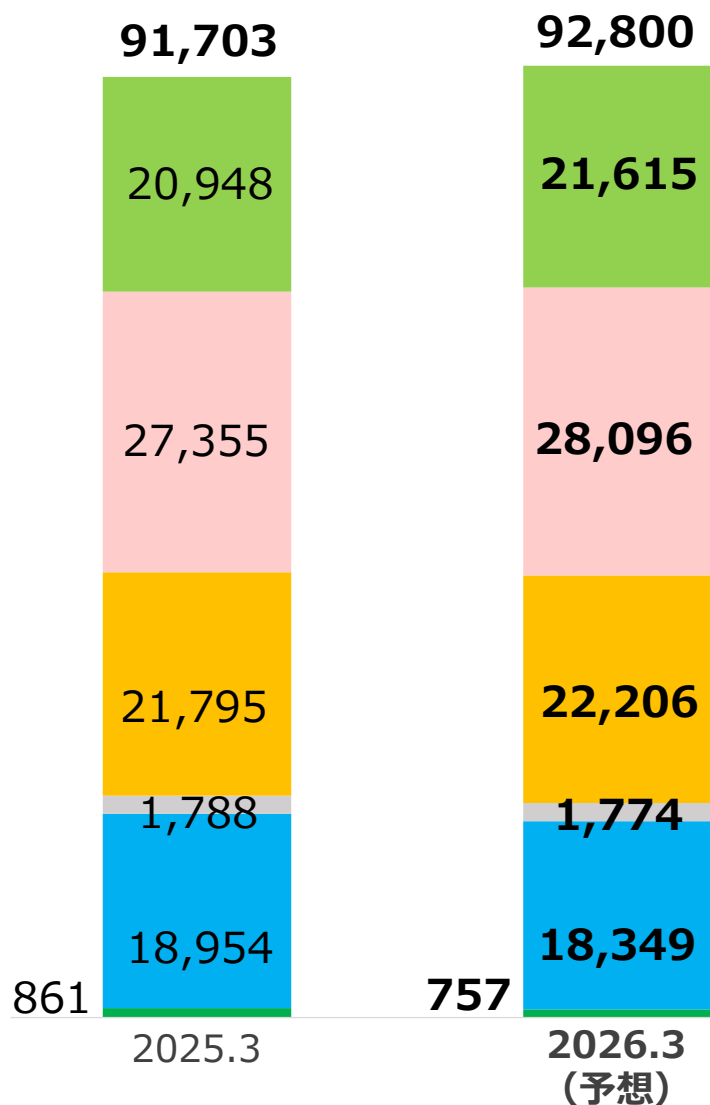
外部要因の影響による原材料費の上昇、商品統廃合による販売機会の減少

	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (期初予想)	2026年3月期（予想） (11月14日修正)	
	金額	金額	金額	前年同期比
(単位：百万円)				
売上高	91,703	95,500	<b>92,800</b>	+1.2%
営業利益	4,845	4,800	<b>3,800</b>	△21.6%
%	5.3%	5.0%	4.1%	
経常利益	4,999	4,970	<b>3,950</b>	△21.0%
%	5.5%	5.2%	4.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,503	3,217	<b>2,470</b>	△29.5%
%	3.8%	3.4%	2.7%	
1株当たり当期純利益	221円62銭	215円59銭	<b>165円32銭</b>	

# 2026年3月期 セグメント別売上高予想



(単位：百万円)

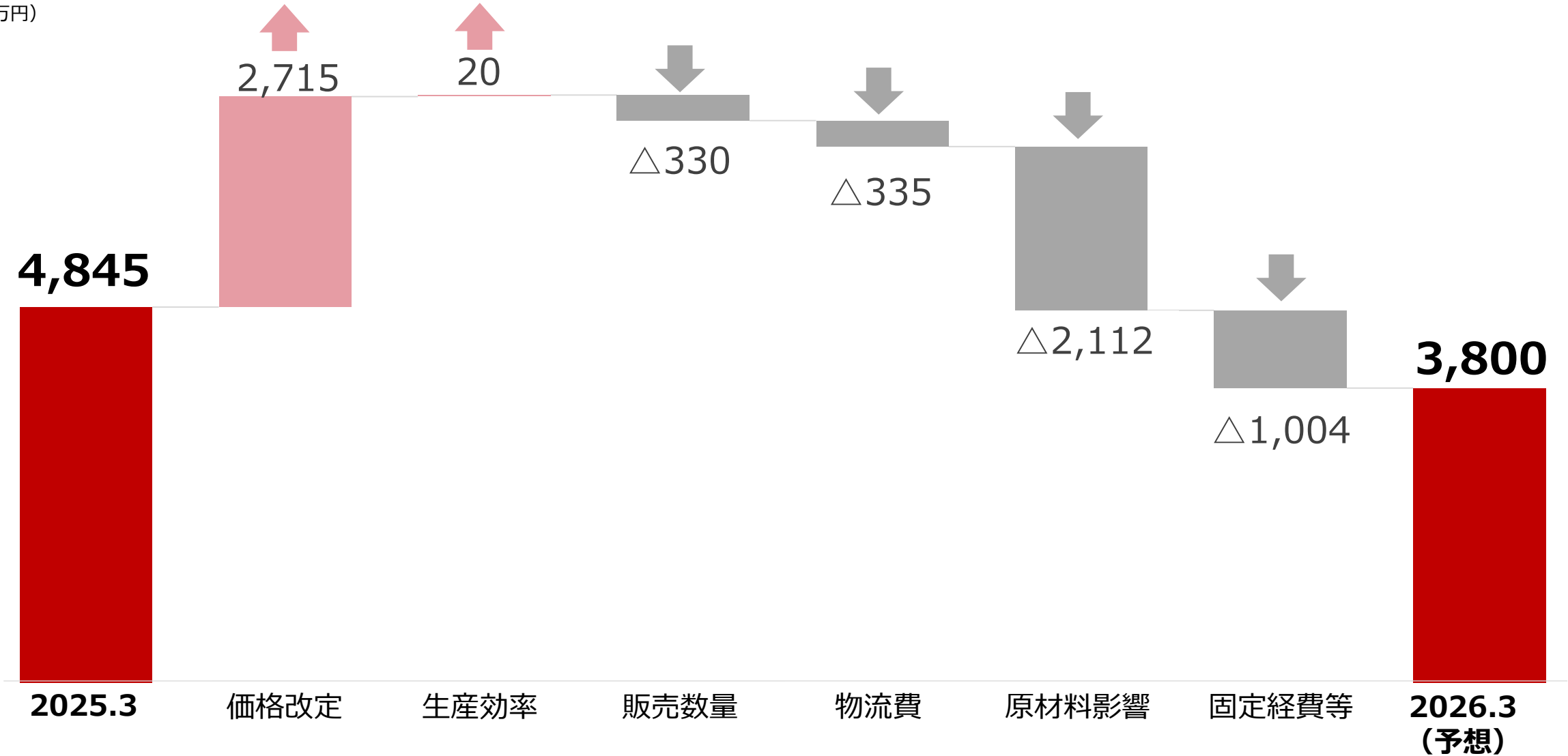


セグメント	前年同期比	今期ポイント
■ 調味料・加工食品事業	+ 2.5%	● 価格改定のタイムラグ ● 商品統廃合による 販売機会の減少
■ サラダ・総菜類	+ 3.2%	
■ マヨネーズ・ドレッシング類	+ 2.7%	
■ タマゴ加工品	+ 1.9%	
■ その他	△ 0.8%	
■ 総菜関連事業等	△ 3.2%	● 販路先一部内製化の影響
■ その他 (サラダカフェ)	△ 12.1%	● 2店舗退店 (2025年8月、9月)



# 連結営業利益 増減要因 <見通し>

(単位：百万円)



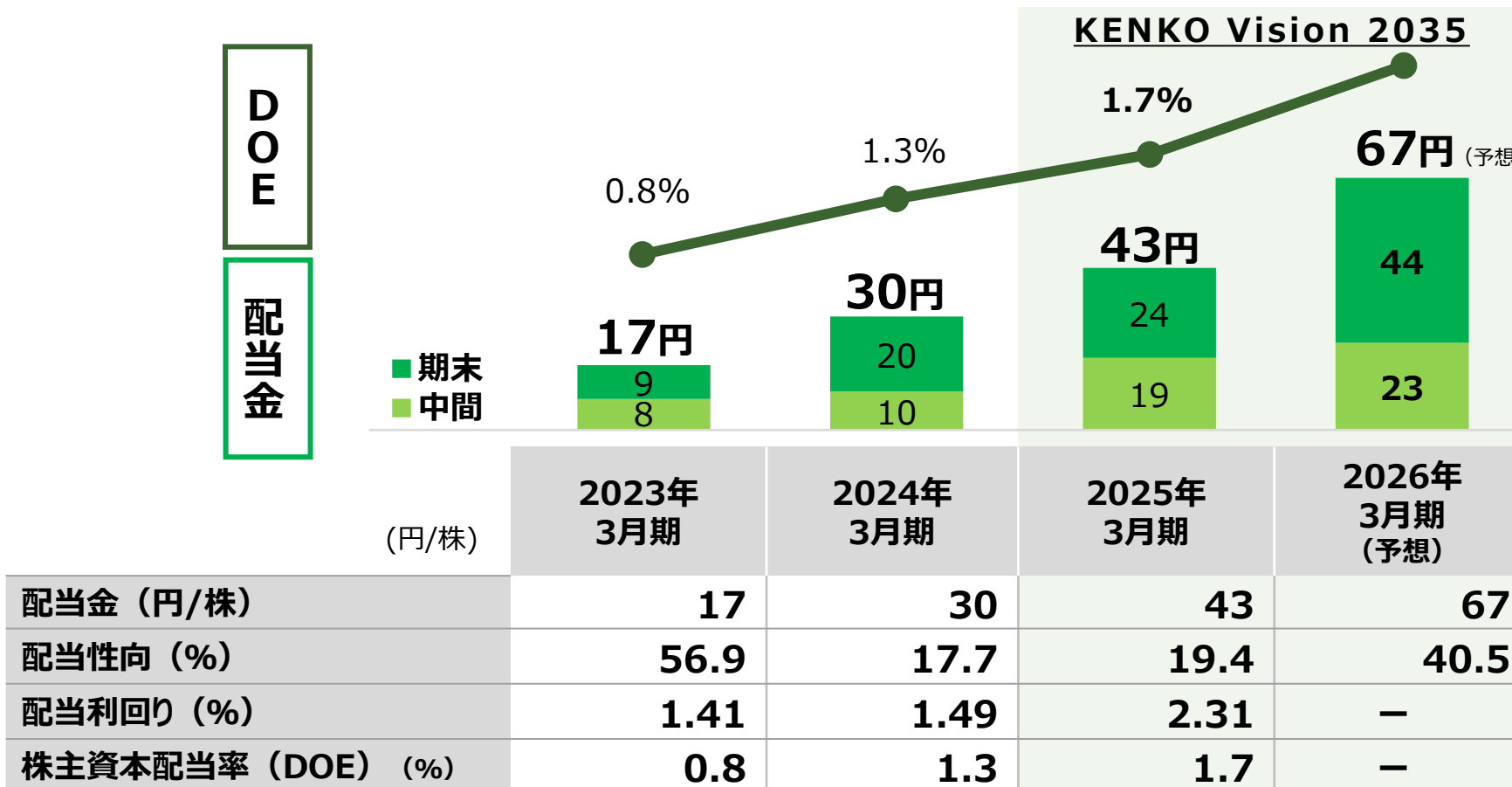
前年同期比△1,045百万円

# 3. 株主還元・配当予想

# 株主還元・配当予想



配当金 (通期)
期初予想 47円
+20円
配当予想修正 67円
2026年2月13日公表



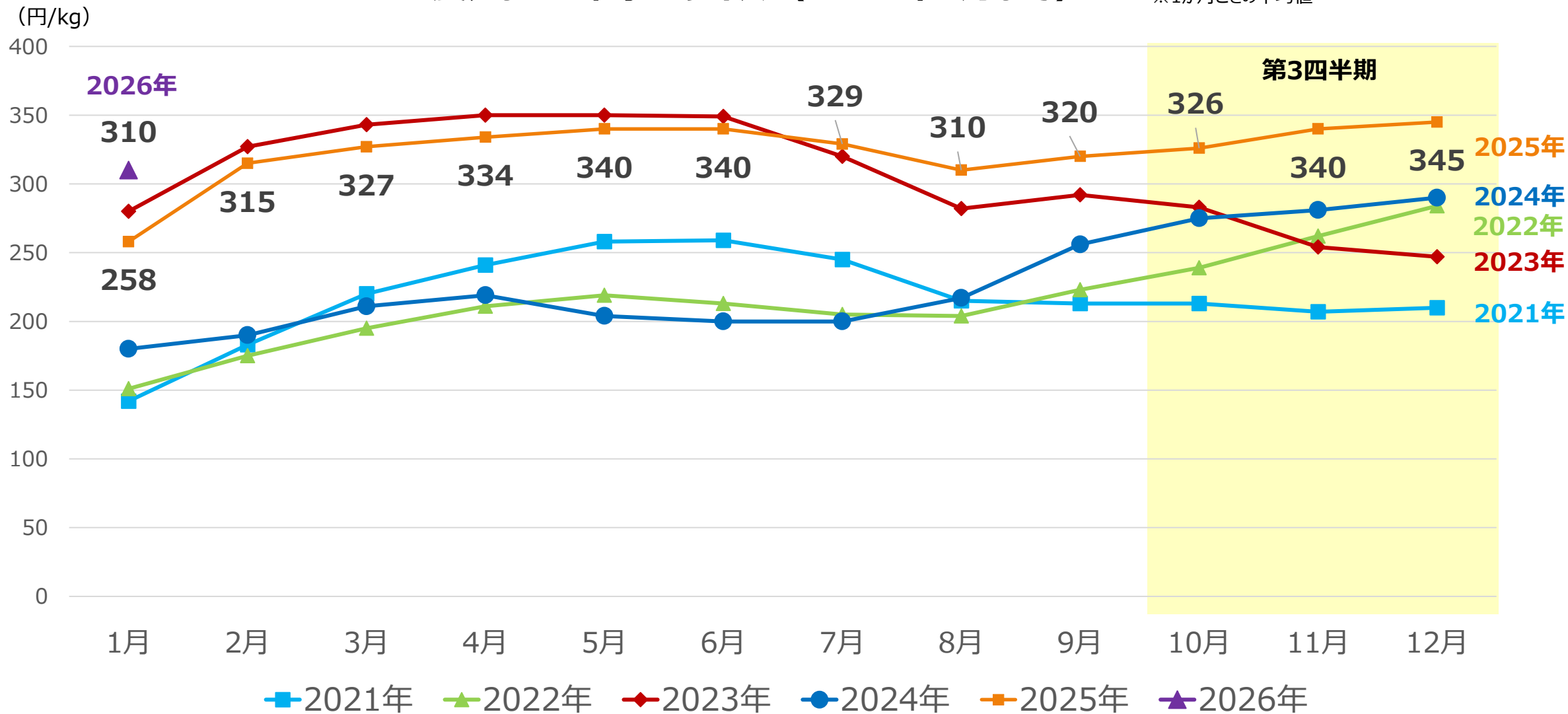
Phase1  
(2025年度~)  
**DOE**  
2.5%以上

配当性向 = 1株あたり配当金 ÷ 1株あたり純利益 × 100  
 配当利回り = 1株あたりの配当金(合計) ÷ 各年3月末日時点株価(終値) × 100  
 株主資本配当率 (DOE) = 配当金総額 ÷ ((期首株主資本 + 期末株主資本) ÷ 2) × 100

# <参考資料>

## <全農たまご 東京Mサイズ (2026年1月まで)>

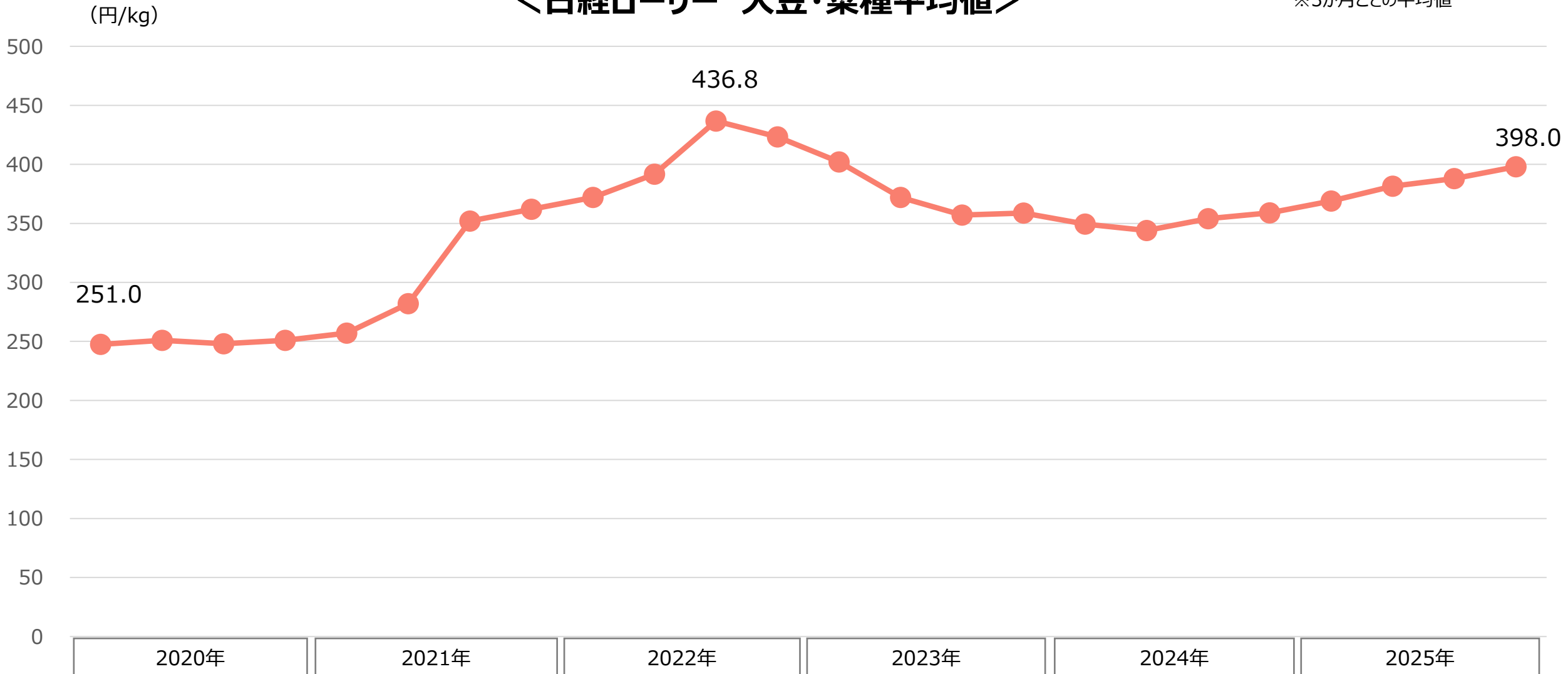
※1か月ごとの平均値



第3四半期

## <日経ローリー 大豆・菜種平均値>

※3か月ごとの平均値

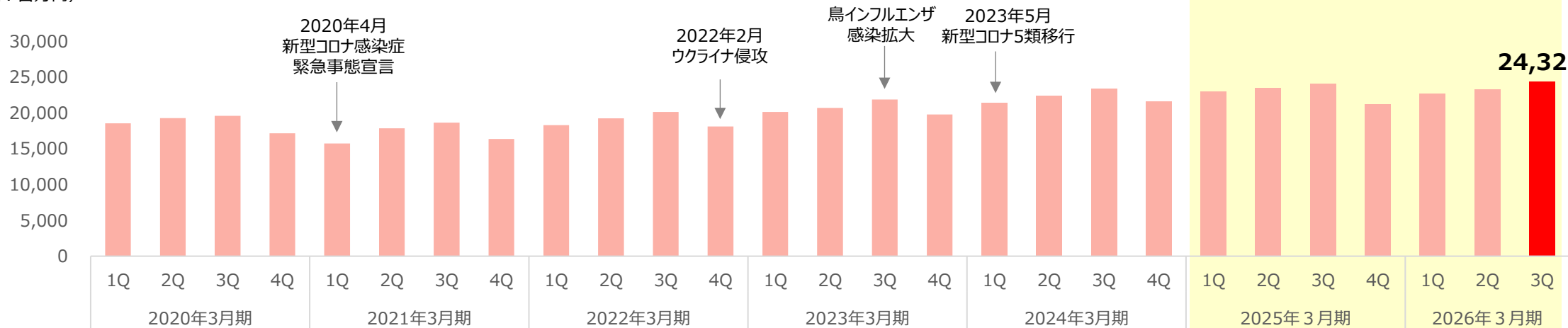


# 業績 四半期別推移 (連結)



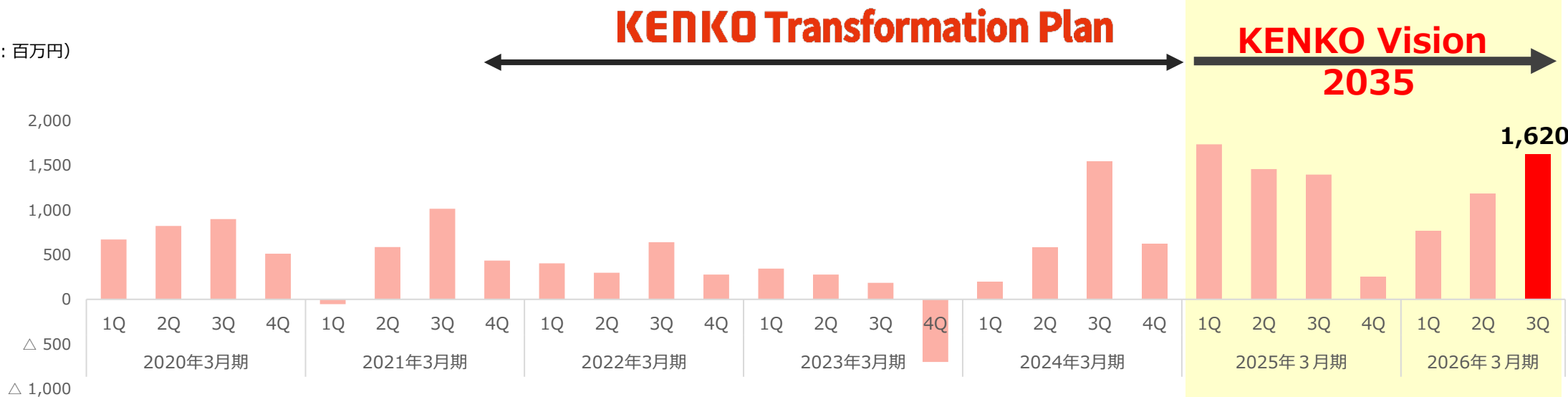
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

営業利益



# 価格改定



	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期				2027年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
マヨネーズ類		●		●			●										●				●
ドレッシング類				●			●										●				●
ソース類				●			●										●				
タマゴ加工品							●	●									●				●
サラダ			●				●			●							●				● 一部
和惣菜							●			●							●				

● = 開始時期

- I R お問い合わせ

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3-8-13
- 担当者 : 経営企画室 経営管理部 IR課
- 電話 : 03-5941-7682
- E-mail : [ir@kenkomayo.co.jp](mailto:ir@kenkomayo.co.jp)

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。